

科目名	からだのしくみ2							年度	2026
英語科目名	Body Mechanics 1							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	神野宏司	教員の実務経験		有	実務経験の職種		大学教授		

**【科目の目的】**

医療を志す者にとって基本的な学問であり柔道整復師として人体の構造を立体的に把握できることを目的とする。

**【科目の概要】**

体の働きについての概要を学びます。

**【到達目標】**

体の構造や機能に対する知識は、すべての医学分野の学習において欠く事のできないものといえる。この科目では、人体を深く理解するうえで広範囲な人体の10系統について医療現場にて患者へ必要かつ理解しやすい説明を行える知識を習得することを目標としている。

**【授業の注意点】**

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	脳について完全に理解している。	脳について大体理解している。	脳について部分的に理解している。	脳についての理解がやや不足している。	脳について理解していない。
到達目標 B	脊髄について完全に理解している。	脊髄について大体理解している。	脊髄について部分的に理解している。	脊髄についての理解がやや不足している。	脊髄について理解していない。
到達目標 C	末梢神経について完全に理解している。	末梢神経について大体理解している。	末梢神経について部分的に理解している。	末梢神経についての理解がやや不足している。	末梢神経について理解していない。
到達目標 D	感覚器について完全に理解している。	感覚器について大体理解している。	感覚器について部分的に理解している。	感覚器についての理解がやや不足している。	感覚器について理解していない。
到達目標 E	体表解剖について完全に理解している。	体表解剖について大体理解している。	体表解剖について部分的に理解している。	体表解剖についての理解がやや不足している。	体表解剖について理解していない。

**【教科書】**

教科書は「解剖学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。

**【参考資料】**

**【成績の評価方法・評価基準】**

試験と課題を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		からだのしくみ2			年度	2026
英語表記		Body Mechanics 1			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	内臓系⑦	生殖器について。	1 女性生殖器の構成	卵巣・卵管・子宮・膣・外生殖器について理解する。	3	
			2 卵巣	役割・形態・構造・機能について理解する。		
			3 子宮	役割・形態・構造・機能について理解する。		
2	神経系①	神経系の区分について。	1 中枢神経系①	脳について理解する。	3	
			2 中枢神経系②	脊髄について理解する。		
			3 末梢神経系	脳・脊髄神経系、自律神経系について理解する。		
3	神経系②	脳について。	1 終脳・間脳	形態・構造・機能・区分について理解する。	3	
			2 中脳・橋・延髄	形態・構造・機能・区分について理解する。		
			3 小脳	形態・構造・機能・区分について理解する。		
4	神経系③	脊髄について。	1 区分	頸髄・胸髄・腰髄・仙髄・尾髄について理解する。	3	
			2 内部構造	灰白質と白質について理解する。		
			3 伝導路	反射路・上行性伝導路・下行性伝導路について理解する。		
5	神経系④	脳神経について。	1 脳神経とは	脳に出入りする12対の神経の総称について理解する。	3	
			2 脳神経の構成	運動性線維・感覚性線維・副交感性線維		
			3 脳神経12対	主な支配領域について理解する。		
6	神経系⑤	脊髄神経について。	1 脊髄神経とは	脊髄と末梢組織を連絡する31対の神経の総称について理解する。	3	
			2 脊髄神経の分類	頸神経・胸神経・腰神経・仙骨神経・尾骨神経について理解する。		
			3 脊髄神経31対	主な支配領域について理解する。		
7	神経系⑥	自律神経系について。	1 自律神経系とは	平滑筋、心筋、腺の支配について理解する。	3	
			2 化学伝達物質	アセチルコリン・ノルアドレナリンについて理解する。		
			3 自律神経系の分類	交感神経系と副交感神経系について理解する。		
8	振り返り	後期1回～7回の講義の振り返り。	1 女性生殖器	各役割・形態・構造・機能について理解する。	3	
			2 中枢神経系	脳神経12対の主な支配領域について理解する。		
			3 末梢神経系	脊髄神経31対の主な支配領域について理解する。		
9	感覚器系①	外皮について。	1 皮膚	分類・構造・機能について理解する。	3	
			2 表皮・真皮・皮下組織	構造・機能・特徴について理解する。		
			3 角質器・皮膚腺	毛・爪、脂腺・汗腺について理解する。		
10	感覚器系②	視覚器について。	1 役割	外界の光景を写し取る装置について理解する。	3	
			2 眼球の構造	外部と内部の構造について理解する。		
			3 眼球付属器	眼瞼・涙器・眼筋について理解する。		
11	感覚器系③	聴覚器・平衡器について。	1 外耳	耳介と外耳道の構造について理解する。	3	
			2 中耳	鼓膜・耳小骨とそれを入れる鼓室・耳管の構成について理解する。		
			3 内耳	蝸牛・前提・半規管の構成を理解する。		
12	感覚器系④	味覚器・嗅覚器について。	1 味蕾	蕾の形に似た紡錘上の味覚器について理解する。	3	
			2 味覚神経	顔面神経・舌咽神経・迷走神経について理解する。		
			3 嗅覚器の構成	嗅粘膜・嗅球・嗅索・嗅覚中枢について理解する。		
13	体表解剖①	各区分①について。	1 体表区分	人体の区分線について理解する。	3	
			2 骨格系	体表から観察できる骨の隆起や突起などについて理解する。		
			3 筋系	体表から確認または推定できる主な筋について理解する。		
14	体表解剖②	各区分②について。	1 脈管系	拍動の触れる動脈について理解する。	3	
			2 神経系	圧痛点と神経麻痺の好発部位について理解する。		
			3 生体計測	計測器で身体各部位の長さなどを客観的に数字で表示することを理解する。		
15	からだのしくみ2のまとめ	後期からだのしくみ2全体の振り返り。	1 神経系	中枢神経系・末梢神経系について理解する。	3	
			2 感覚器系	外皮・視覚器・聴覚器・平衡器・味覚器・嗅覚器などについて理解する。		
			3 体表解剖	骨格系・筋系・脈管系・神経系などについて理解する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等